

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2025年9月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2025年9月11日～9月30日
- 調査対象 200社
- 回答企業 134社
- 回収率 67.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 仕入単価：(下落) - (上昇)

販売単価：(上昇) - (下落) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の9月の状況を見ると業況DIは、前月より1.1ポイント悪化の▲20.9となった。

2017年9月以来97ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲20.2、当月と比べ0.7ポイントの改善が見込まれる。

旭川市全産業DI値（前年同月比）の推移

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2025年10月～ 2025年12月
業況	▲14.2	▲17.3	▲11.7	▲18.2	▲19.8	▲20.9	▲20.2
売上	3.7	0.8	7.1	▲3.7	▲6.6	▲6.7	▲10.4
採算	▲15.7	▲18.8	▲11.0	▲16.1	▲20.6	▲21.6	▲17.2
仕入単価	▲70.2	▲56.4	▲56.3	▲58.4	▲52.9	▲60.5	▲51.5
販売単価	29.1	24.1	30.4	28.5	19.1	21.7	17.2
従業員	36.6	33.8	32.1	29.9	28.6	33.6	31.4
資金繰り	▲8.2	▲11.3	▲9.4	▲10.9	▲15.5	▲8.9	▲12.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	先行き見通し 2025年10月～ 2025年12月
建設	▲29.0	▲21.2	▲10.3	▲19.3	▲23.4	▲24.1	▲17.3
製造	▲16.7	▲24.2	▲10.0	▲23.4	▲19.3	▲23.3	▲26.7
卸売	0.0	▲7.4	▲7.4	▲15.7	▲15.4	▲16.7	▲10.0
小売	▲26.3	▲36.8	▲38.9	▲35.0	▲40.0	▲44.4	▲38.9
サービス	0.0	0.0	0.0	0.0	▲6.9	▲3.7	▲14.8

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規の顧客確保に苦戦している。従来までの顧客以外の販路を確保するのが弊社の課題となっており、市内の仕事の激減で中々難しいところではある。（総合工事） ・今期は比較的順調に推移している（売上・採算）、来期は不透明。（設備・その他） ・現状は前年並みに推移しているが、前年同期の売上が極端に低調であったことによるものであり、今後の受注状況を鑑みると通期業況は厳しい。オーナーからの新築案件の紹介頼みはある意味限界を感じており、SNS を活用した施工住宅 PR による見込み客の集客策に本腰を入れて検討中である。（建築業）
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の収穫が終盤を迎えたが、6 月下旬の暑さと雨不足による品質低下で、昨年の約半分の収穫量になりそうだ。更に来月から最低賃金の引き上げもあり、人員確保と補充の解決をしないといけない。（食料品） ・材料(用紙)がまた上がる予定。製紙会社が 10%以上とってきており、売上にしっかりと転嫁しなければと思っている。（印刷・出版） ・計画段階の物件が昨年より多いが、受注に至る確率は下がっている。（金属窯業他） ・来月は最低賃金の改定が控えており、かなり厳しい状況が続く。業界的にはホームユースの需要が伸び悩み、商品在庫がだぶついている感がある。ホテルや商業施設などのコントラクト案件に期待しながら営業活動を進めている。（家具・木材）
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的にまだまだ暖かく冬物商品のはじまりが鈍い。また仕入れ価格が相変わらず高いため、消費者の消費マインドがついて来ず小売店を中心に実売が鈍く仕入に消極的。（繊維・衣服等） ・株式譲渡（M & A）により事業を継承したところであり、経営の再建と不振の回復に向け現在取り組み中。（機械鋼材等） ・当月の業況は前年同期に比べ微減に推移。主たる顧客である営農者は収穫時期であり、推進活動において面談が進まないのも一因。10 月より最低賃金が上がることにより管理費の増加は必至であるも、経費の見直しで十分吸収できる範囲である。（その他） ・灯油の仕入価格は多少の上下を繰り返しているが、当面、販売価格は現状のまま続くと思われる。（その他）
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・9 月中旬を過ぎ未だに夏の気候 30℃近くあり、なかなか秋商品を求める来店客がまったく来ないため、売上が大変厳しい状況にある。打開策が見つからない。店内は秋シーズン商品をしっかり取り揃え来店客の対応に備える。（衣服身回品） ・9 月前半はインバウンド効果、天候等の影響もあり、比較的良好な売上を維持。中旬以降、特に「あさひかわ食ベマルシェ」終了後から来店客数が減少傾向。中でも地元のお客様のご来店が目に見えて減っており客層の変化が顕著。一方で週末は日本人観光客およびインバウンドのお客様の利用が一定数あり、最低限の集客は確保している状況。（食料品） ・9 月は新車イベントの開催により売上の増加を見込んでいるが、人件費の増加・設備投資の影響により、業況は悪化すると予想しており、楽観視はできない状況。今後も一人一人のお客様を大切に、良い品質の商品とサービスを提供して利益率を高めていく。（自動車） ・暫定税率は廃止の議論が行われている中、今後の小売価格に与える影響が不安である。（その他）
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・万博の影響による国内個人の伸び悩みとインバウンドの団体から個人・グループ化で営業方法を検討しなければいけない。（ホテル・旅館） ・原材料等値上げによる業況の悪化。（飲食業） ・公共工事は労務単価の上昇が反映されているが、民間工事は価格競争の激化に加え、資材・労務費の高騰もあり、停滞傾向にある。（その他） ・収入面では前年並みはクリアできる見込みだが、費用面での諸価格の高値安定継続が厳しさをまねいている。資金面での苦しい状況は一時的に脱しているものの、労務対策、設備更新投資を考慮すると不安定。（運送）

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI2.9 ポイント改善、採算 DI2.4 ポイント改善、仕入単価 DI5.7 ポイント悪化、販売単価 DI7.4 ポイント改善、資金 DI2.9 ポイント改善、従業員 DI1.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 0.7 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事、建築業横ばい、設備・その他 3 ポイント悪化となった。4 月の法改正により、確認申請許可に大変日数がかかっている。これから申請が複数あるため、工程が掴みづらい状況との声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI9.7 ポイント改善、採算 DI7.3 ポイント悪化、仕入単価 DI4.5 ポイント悪化、販売単価 DI3.9 ポイント改善、資金 DI9.5 ポイント改善、従業員 DI0.6 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 4.0 ポイント悪化となった。業種別では、印刷・出版 20 ポイント改善、家具・木材横ばい、食料品 29 ポイント、金属窯業他 3 ポイント悪化となった。最低時給の改定により、更なる効率化が必要との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI1.0 ポイント改善、採算 DI1.2 ポイント悪化、仕入単価 DI6.2 ポイント悪化、販売単価 DI2.1 ポイント改善、資金 DI4.3 ポイント改善、従業員 DI7.9 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 1.3 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 40 ポイント、その他 11 ポイント改善、繊維・衣服等 43 ポイント、機械鋼材 8 ポイント悪化となった。原材料のコスト上昇及び人手不足との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI18.3 ポイント悪化、採算 DI14.4 ポイント悪化、仕入単価 DI26.7 ポイント悪化、販売単価 DI11.1 ポイント改善、資金 DI2.8 ポイント改善、従業員 DI7.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 4.4 ポイント悪化となった。業種別では、自動車 8 ポイント改善、衣料品、その他横ばい、食料品 17 ポイント悪化となった。なかなか店舗販売が伸びないが、ネット販売が少しずつ伸びてきている。海外からのオーダーもあり、少し期待しているが、米国はトランプ政権の関税の関係で輸入品の取扱いにかなりの遅延がでていることが心配であるとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI2.9 ポイント悪化、採算 DI10.1 ポイント改善、仕入単価 DI1.7 ポイント悪化、販売単価 DI12.8 ポイント悪化、資金 DI9.9 ポイント改善、従業員 DI13.1 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 3.2 ポイント改善となった。業種別では、理美容・クリーニング 67 ポイント、ホテル・旅館 17 ポイント悪化、整備業横ばい、その他 3 ポイント、飲食 25 ポイント、運送 20 ポイント改善となった。原材料・エネルギー価格・労務費等のコスト増との声も寄せられている。</p>